

琉球・沖縄
年中行事?なんでも!
Q&Aお米の中に入れる
お金の金額は?

●Answer

沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職
帰依 龍照 (きえりゅうしょう)

Q

ウグワンブトウチなど、お米の中に入れるお金は、いくらぐらいがよいのでしょうか? 教えてくれる友達によって金額が違うので、迷っています。

(宮古島市Tさん 60代女性)

A

沖縄では、お米の中に
お金を入れる祭具の
ことを「ハナグミ(花米)」「ミハ
ナ(御花)」と呼びます。また
「ミハナ」には、お米を洗わず
使用する「カラミハナ(空御
花)」と、お米を洗って使用す
る「アライミハナ(洗い御花)」
があります。さて、なぜお米の
中にお金を入れるようになった
のでしょうか?

その理由を調べてみると

1.サンゴミハナ(3合御花)・
クンゴミハナ(9合御花)の合
数など、お米の不足分をお金
で補うため。
2.お米もお金も、とても大切
なものなので一緒に入れるよう
になった。

3.特別な行事であることを
強調するために、お米の中に
お金を入れるようになった。
4.昔は、お米の中にお酒(盃)
を入れていたものが、今では、
お金でお酒を買ってくださ
いに変化し、お米の中にお金
を入れるようになった。
5.お米のありがたさを示す
ため、お金の金額で意味づけ
をするようになった。

などが主な理由のようす
が、いずれにしても地域や家

庭に富んだ沖縄のしきたりと
いえるようです。このように、
諸説にわたるといことは、そ
れだけみなさんが大切にしてい
るしきたりだということも
うかがいれます。

ハナグミミハナの作法

地域や家庭によってお金の
金額や硬貨の枚数は異なり
ますが、次のケースを選択さ
れることが多いようです。

【15円を入れる】

15円には、充分(10円)、よい
ご縁(5円)がありますように
との意味があります。地域や
家庭によっては、円満なウグワ
ンなどの意味から満月の十五
夜にあやかっただともされます
が、お餅の重箱の15個やヒラウ
コー、タヒラハンの15本も同じ
ような意味があるようです。

【30円を入れる】

30円は、充分とよいご縁が、
わが家とジーチヌカンガナシ
(土地之神加那志)の双方に
恵まれるようにとの思いで、15
円×2(双方)＝30円になった
といわれます。また、天地水
(仁)の3つに充分なウグワンな
どが行えますよとのの意味
ともいわれています。

【70円を入れる】

70円は、お葬式の後には、ハチ
ナンカ(初七日)からシンジュ
クニチ(四十九日)まで、ナンカ
(七日、正式には中陰「ちゆう
いん」と呼ばれる7日ごと)に
7回の供養を行います。この
ことから7がグソー(後生)と

いうウヤファーフジ(ご先祖)の
世界を表現する数字でもあ
ることから、充分にグソーを供
養できるようにとの意味で、
10円×7(グソー)＝70円にな
ったといわれています。地域・家
庭によっては、ダーク(団子)や
ハーガー(干菓子)など、7個・
7枚を小皿などに盛る、供物
(くもつ)というお供え物が、ウ
スコー(法事)の7回(百カ日
一周忌三回忌七回忌十三回
忌二十五回忌三十三回忌)
の回数を表示しているとの意
味で、10円×7(ウスコー)＝
70円になったともいわれます。

【硬貨3枚のハナグミミハナ】

金額を問わず共通している
作法としては、硬貨3枚で組
むという考え方があります
(7枚・12枚などの地域や家庭
もあります)。3は、前述した
天地水(仁)の森羅万象を表
現する聖数(せいすう)厳肅な
数字)に起因しているといま
す。つまり、

◎15円は、5円硬貨×3枚

◎30円は、10円硬貨×3枚

◎70円は、50円硬貨+10円硬
貨×2枚
になります。

余談ですが、とある家庭の
ヤシチヌウグワン(屋敷之御願)
では、お米の中にたくさんのお
金が入っていました。数えてみ
ますと448円で、内訳は10
0円硬貨が4枚、10円硬貨が
4枚、5円硬貨が1枚、1円硬
貨が3枚になりました。

隣にいたお孫さんが祖母
に、「おばあ、この12枚のお金
は、千支の十二支とかの12枚
の意味ね?」と尋ねまし
たら「あらん。さつきウチカビ
を買ってきた、おつりだわけ
よく。深い意味はないよ!」
と即答されていました。12枚
なら、千支の十二支のような
感じもしますが、まさかおつ
りだったとは、といった笑い話
です(笑)。

今年のウグワンブトウチは、
2月9日(金)で旧暦の12月
24日にあたります。お米の中
に入れるお金の金額や枚数
は、語呂合わせといえは、それ
までかもしれないませんが、こ
のような数量的畏敬に対する
心の豊かさが、沖縄の感性の
素晴らしい分野なのかもしれ
ません。もちろん、その金額や
枚数以外にも、意味のある沖縄
のしきたりですから大切に
継承していただければと思
います。

